



日章学園九州国際高等学校校長便り 弥生

建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：**為せば成る**

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和4年(2022年)3月2日(水) 校長 屋田伸仁



為せば成る



3月2日は第38回卒業式を行いました。新型コロナ
ウィルス感染対策で、規模を縮小して実施しました。

本年度を振り返ってみると、この一年間、コロナ禍で教育活動が制限された中でしたが、文化祭や秋の一日遠足で韓国岳登山や六観音池巡り、クリスマス会等、思い出に残る行事が実施できました。また、宮崎県動物愛護センターで「いのちの教育」を学び、保護犬ニッキーとの触れあいやドッグランの活用で学校に活気も出てきました。コロナ禍で生きづらい日が多くありました。このコロナウィルスも人類の英知で克服できる日が必ずやってきます。明るい将来に向かって、みんなで力を合わせて前に進んでいきましょう。

さて、皆さんの門出にあたり、建学の精神をはなむけの言葉として贈ります。

道義に徹する

渋沢栄一の「論語と算盤」の生き方です。渋沢は算盤

だけでは、もうけ主義や利己主義がはびこり、日本経済は破綻する。道徳と経済が両立してこそ、世の中に真の豊かな繁栄をもたらすと考えました。論語とは、道徳や道義のことです。善惡の判断や思いやりの心です。皆さんの行く手には誘惑や甘い声が待ち構えているかもしれません。善惡の判断や思いやりを心の中心軸にしっかりと据えていれば、まちがいのない言動ができると思います。道義に徹する生き方をしてください。



実利を図る

皆さんにはそれぞれ実現したい大きな夢があると思います。しかし、大きな夢だけでは絵に描いた餅です。では、どうするか、ここで、大きな力を発揮するのが、大谷翔平の目標達成シートを活用するようなやり方です。大きな夢に近づくために、それに必要な小さな夢や目標をいくつも立てて、一つ一つ取り組んでいく方法です。コツコツ努力を続けていくことができれば、やがて、自分の夢に近づき、実現します。あきらめないで、小さな努力を続けてください。



勤労を愛する

上杉鷹山の「為せば成る」の心の持ち方です。上杉鷹

山はもともと、宮崎県の高鍋藩の人でした。17才で請われて米沢藩の藩主になりました。今にもつぶれそうな苦しい米沢藩の財政を立て直すために、相当な決意を持って、「為せば成る」と家臣や領民に説きました。藩の人々は儉約や勤労を実行し、助け合って見事に米沢藩を全国でも屈指の豊かな藩にしました。「為せば成る」は自らやる気を起こし、自分を奮い立たせてる言葉です。「為せば成る」「やればできる」の気概で未来の道を切り拓いていってください。



All is well that ends well.

【終わりよければ すべて良し】

何事にも始めがあるように、何事にも終わりがあります。そして、始めと同じように、いやそれ以上に終わりが大切だとこのことわざは、教えています。最初、失敗しても、最後に成功すれば、それまでの失敗をすべて償うことができます。

3月24日は終業式です。在校生の皆さん、本年度のまとめをしっかりと行い、4月の新年度に向けて、好スタートを切ることができるよう、この3月は充実した毎日を過ごしましょう。

